

小児医療費に関する予算について

関東部会提出
説明担当 厚木市

少子高齢化の現状を考えると、子どもたちの健康は大変重要です。

現在、自治体ごとに小児医療費の現状を考えますと、入院費、通院費用は格差があります。また、所得制限がある、なしでも違ってきます。

小児医療費補助については、各自治体によるものとなっておりますが、本来このように格差があることは決して良いことであるとは思えません。

少子高齢化対策として、子どもの健康問題を自治体まかせとするのではなく、一定の年齢までを国が補助していただくことができれば、各自治体の格差がなくなるだけでなく、自治体ごとに特色ある健康政策に取り組める余裕ができるのではないかと考え、小児医療費、健康対策費の予算の確保・充実を図り、次の事項を要望します。

- 1 子どもたちが心も身体も健康で育つために、格差なく、医療を受けられるような環境を創るために、国として自治体格差をなくすための補助、協力をすること。
- 2 子どもの成長における健康政策が充実するよう、小児医療予算の拡充をすること。